

一 資 料 編 一

1	検討体制	1 1 5
2	検討の経緯	1 1 8
3	第一次計画の評価に用いた評価指標の詳細など	1 2 1
4	環境に関するアンケート調査結果	1 3 5
5	分野別の取組（50音順）	1 5 8
6	主な環境関連法令・計画	1 6 2
7	用語解説	1 6 5

1 検討体制

「第二次あきる野市環境基本計画」（以下「第二次計画」という。）の策定に向けた検討は、識見を有する者、市民の代表、事業者の代表、市職員からなる「あきる野市環境基本計画市民検討委員会」（以下「市民検討委員会」という。）と庁内横断組織である「あきる野市環境基本計画策定本部」及び「あきる野市環境基本計画策定委員会」（以下「策定本部」及び「策定委員会」という。）で行いました。

また、「第二次あきる野市環境基本計画（案）」について、識見を有する者、市民、事業者からなる「あきる野市環境審議会」に諮問し、審議の後、同審議会より答申をいただきました（図1）。

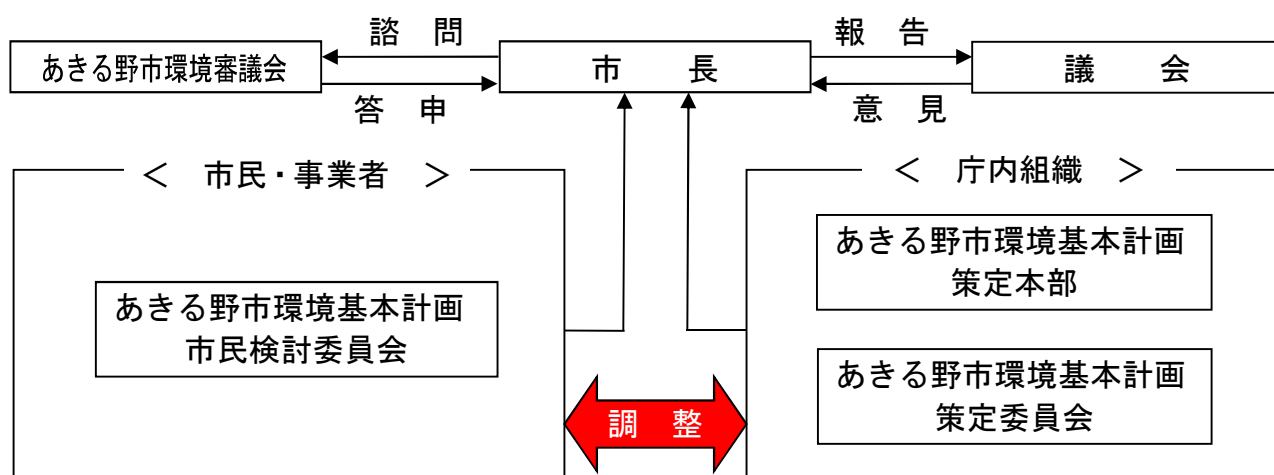


図1 検討体制のイメージ

（1）あきる野市環境審議会委員名簿（平成28年（2016年）1月25日現在）

職 務	氏 名	所 属
会 長	志村 秀男	
副会長	青木 旦治	あきる野市緑地保全審議会
委 員	栗原 晋二	あきる野市都市環境審議会
委 員	海老沢 米造	あきる野市観光協会
委 員	鶴田 和男	あきる野商工会
委 員	平野 正延	あきる野市農業委員会
委 員	伊東 一郎	あきる野市都市環境審議会
委 員	小澤 昇	あきる野市清流保全協力員
委 員	豊嶋 雅代	あきる野市廃棄物減量等推進員
委 員	松村 博文	あきる野市環境委員会

(2) 市民検討委員会名簿（平成26年度（2014年度）～平成27年度（2015年度））

職 務	氏 名	所 属
委員長	江添 真司	公募市民
副委員長	松村 博文	あきる野市環境委員会
委 員	坂野 紀世子	あきる野市緑地保全審議会
委 員	室岡 紀佳	あきる野市廃棄物減量等推進委員
委 員	浅原 ゆかり	公募市民
委 員	河村 郷子	公募市民
委 員	栗原 達夫	公募市民
委 員	森 博	公募市民
委 員	中村 勇	あきる野市町内会・自治会連合会
委 員	山中 利勝	あきる野市町内会・自治会連合会
委 員	石川 稔	あきる野市環境委員会
委 員	松村 兼房	あきる野商工会
委 員	影山 守彦	あきる野市観光協会
委 員	田中 正治	あきる野市農業委員会
委 員	浦野 治光 （～平成27年3月31日） 吉澤 桂一 （平成27年4月1日～）	あきる野市環境経済部

(3) 策定本部（平成27年（2015年）12月7日現在）

職 務	氏 名	所 属
本部長	尾崎 喜己	副市長
副本部長	吉澤 桂一	環境経済部長
本部員	私市 豊	教育長
本部員	宮田 賢吾	企画政策部長
本部員	浦野 治光	総務部長
本部員	田野倉 裕二	市民部長
本部員	小澤 豊	観光担当部長
本部員	平井 裕	健康福祉部長
本部員	角田 一	子ども家庭部長
本部員	田中 信行	都市整備部長
本部員	田中 豊昭	会計管理者
本部員	山本 常雄	議会事務局長
本部員	森田 勝	教育部長
本部員	肝付 俊朗	指導担当部長
本部員	関谷 学	生涯学習担当部長

(4) 策定委員会 (平成27年度 (2015年度))

職 務	氏 名	所 属
委員長	吉澤 桂一	環境経済部長
副委員長	大久保 丈治	環境経済部 環境政策課長
委 員	田野倉 裕二 (~平成27年11月15日) 鈴木 将裕 (平成27年11月16日~)	企画政策部 企画政策課長
委 員	山下 喜嗣	総務部 総務課長
委 員	大出 英祐	総務部 地域防災課長
委 員	田代 千穂	市民部 市民課長
委 員	山際 由晃 (~平成27年11月15日) 山本 淳史 (平成27年11月16日~)	環境経済部 生活環境課長
委 員	伊藤 修	環境経済部 農林課長
委 員	舘野 俊之	環境経済部 観光まちづくり活動課長
委 員	渡邊 浩二	健康福祉部 生活福祉課長
委 員	岡部 健二	子ども家庭部 子ども政策課長
委 員	白井 治夫	都市整備部 都市計画課長
委 員	丸山 誠司	都市整備部 建設課長
委 員	小林 賢司	教育部 教育総務課長
委 員	西山 豪一	教育部 指導室長
委 員	鈴木 将裕 (~平成27年11月15日) 細谷 英広 (平成27年11月16日~)	教育部 生涯学習スポーツ課長

2 検討の経緯

平成18年度（2006年度）から平成27年度（2015年度）までを計画期間とする「あきる野市環境基本計画」（以下「第一次計画」という。）の計画期間満了を受け、平成26年（2014年）10月から平成28年（2016年）2月までの約1年半にわたり、市民検討委員会と策定本部、策定委員会での検討を重ね、第二次計画（案）の取りまとめを行いました。その後、あきる野市環境審議会による審議を経て、第二次計画の策定に至りました。

また、平成26年（2014年）12月には、市民2,000人、事業者200件を対象とする「環境に関するアンケート調査」を実施し、市民、事業者の環境に対する意識や考え方、環境保全の取組の実施状況、本市の環境に関する取組の認知度などを把握し、第二次計画策定の基礎資料としました。

平成28年（2016年）1月には、パブリックコメントを実施し、市民、事業者の方から、計3件の意見をいただきました。

（1）あきる野市環境審議会の審議経過

回	開催日時	審議事項
第1回	平成28年（2016年） 1月25日	・ 第二次計画（案）について（諮問）
第2回	平成28年（2016年） 2月22日	・ 第二次計画（案）について（答申）



図2 あきる野市環境審議会へ諮問



図3 あきる野市環境審議会から答申

(2) 市民検討委員会の検討経過

回	開催日時	検討事項
第1回	平成 26 年(2014 年) 10 月 31 日	・ 役員の選出について ・ 環境基本計画の改定について ・ 市民・事業者アンケートの実施について
第2回	平成 27 年(2015 年) 3 月 20 日	・ 第二次環境基本計画策定における基本的事項について ・ 環境に関するアンケート調査結果等について
第3回	平成 27 年(2015 年) 6 月 17 日	・ 第一次計画の評価について ・ 第二次計画の策定スケジュールについて
第4回	平成 27 年(2015 年) 9 月 9 日	・ 第二次計画の構成(案)について ・ 「第1章 基本的事項」について ・ 施策体系及び事業体系(自然環境分野)について
第5回	平成 27 年(2015 年) 10 月 21 日	・ 「第3章 望ましい環境像の実現に向けた取組」(自然環境分野)について ・ 施策体系及び事業体系(生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野)について
第6回	平成 27 年(2015 年) 11 月 30 日	・ 「第2章 第一次計画の評価と望ましい環境像」について ・ 「第3章 望ましい環境像の実現に向けた取組」(生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野)について ・ 「第4章 推進体制と進行管理」について ・ 各種取組や目標の記載方法について
第7回	平成 27 年(2015 年) 12 月 18 日	・ 第二次計画(案)について
報告	平成 27 年(2015 年) 12 月 24 日	・ 市長に検討結果を報告



図4 市民検討委員会の様子



図5 市長に検討結果を報告

(3) 策定本部の検討経過

回	開催日時	検討事項
第1回	平成27年(2015年) 12月7日	・ 第二次計画(素案)について ・ 各種取組や目標の記載方法

(4) 策定委員会の検討経過

回	開催日時	検討事項
第1回	平成27年(2015年) 8月17日	・ 第二次計画の基本的事項について ・ 第二次計画の施策体系及び事業体系について
第2回	平成27年(2015年) 12月4日	・ 第二次計画の対象外とした取組について ・ 第二次計画(素案)について ・ 各種取組や目標の記載方法

3 第一次計画の評価に用いた評価指標の詳細など

(1) 評価指標と評定の算出方法の詳細

本編に示すとおり、第一次計画の評価に用いた評価指標は、「施策進捗状況」「関連指標及び目標達成のめやすの達成状況」「環境に対する市民満足度」「環境保全活動の実施状況」の4つです。評価指標の評価は、「平成25年度 あきる野市環境白書」や「環境に関するアンケート調査」（資料編135頁～157頁参照）の結果などから行っています。

評価指標の詳細は、次のア～エのとおりです。

ア 施策進捗状況

施策進捗状況は、第一次計画における各施策の進捗を示したものです。「平成25年度 あきる野市環境白書」における施策進捗状況評価を対象とし、各施策の評価に応じた点数のほかに、評定として、平均点を算出します。

実施状況	評 価	点 数
定常的实施	A	5
一部着手	B	3
未着手	C	1
完了	F	5

施策進捗状況の配点表

<例>

分野	関連する施策・事業	評 価	点 数
自然環境	自然環境調査の実施	A	5

イ 関連指標及び目標達成のめやすの達成状況

第一次計画では、施策ごとに目標を設定し、目標達成の指標として、「関連指標」又は「目標達成のめやす」を定めています。平成25年度（2013年度）を対象とし、関連指標及び目標達成のめやすの達成状況の評価に応じた点数のほかに、評定として、平均点を算出します。

なお、関連指標及び目標達成のめやすには、『あきる野百景』の認知度」「生活排水処理率」などの複数の項目があり、項目や達成状況、評定等は、資料編124頁～126頁に掲載しています。

達成状況	評 価	点 数
目標値を達成している	A	5
現在の取り組みを継続、拡大すれば目標値を達成できる	B	4
現在のままでは目標値の達成が困難と考えられるため、改善措置を講じる必要がある	C	3
目標を達成していない	D	1
今年度は評価ができない	Z	1

関連指標及び目標達成のめやすの達成状況の配点表

<例>

分野	指標	目標	実績	評価	点数
自然環境	「あきる野百景」の認知度	70%	69.91%	B	4

ウ 環境に対する市民満足度

環境に対する市民満足度は、「環境に関するアンケート調査」の結果を示したものです。自宅周辺と市全域の環境をどう感じているか尋ねた設問（市民編問4）における「あきる野市全域」に対する回答を対象としています。満足度は、「そう思う」と「ややそう思う」の回答件数の合計から判定しています。また、満足度の評価に応じた点数のほかに、評定として、平均点を算出します。

なお、市民満足度に関わる設問には、「山地や丘陵地、農地などの豊かな自然環境が良好な状態で保たれている」「ごみやたばこのポイ捨て、落書きがなく、清潔な街が保たれている」などの複数の項目があり、設問と満足度、評定等は、資料編127頁に掲載しています。

満足度	評価	点数
70%以上	A	5
50%以上70%未満	B	4
30%以上50%未満	C	3
15%以上30%未満	D	2
15%未満	E	1

環境に対する市民満足度の配点表

<例>

設問項目 山地や丘陵地、農地などの豊かな自然環境が良好な状態で保たれている
 回 答 そう思う 95件、ややそう思う 284件、回答数703件
 満 足 度 $(95 + 284) \div 703 = 0.53911 \dots = 53.91\% \rightarrow$ 評価B
 $\rightarrow$ 点数4

エ 環境保全活動の実施状況

環境保全活動の実施状況は、「環境に関するアンケート調査」と平成24年（2014年）に実施した「地球温暖化対策に関するアンケート調査」の結果を示したものです。

「環境に関するアンケート調査」の環境に関する取組について尋ねた設問（市民編問7、事業者編問6と問8）及び「地球温暖化対策に関するアンケート調査」の地球温暖化対策に関する取組について尋ねた設問（市民編問4と問5、事業所編問4～問8）の回答を対象としています。

また、実施率は、各設問項目における「常に取り組んでいる」と「気付いたときなどに取り組んでいる（時々取り組んでいる）」の回答件数の合計から判定しており、実施率の評価に応じた点数のほかに、評定として、平均点を算出します。設問と実施率、評定等は、

資料編128頁～134頁に掲載しています。

なお、地球温暖化対策に関するアンケート調査結果は、「地球温暖化対策地域推進計画」の資料編に掲載しています。

実施率	評価	点数
70%以上	A	5
50%以上70%未満	B	4
30%以上50%未満	C	3
15%以上30%未満	D	2
15%未満	E	1

環境保全活動の実施状況の配点表

<例>

設問項目 山地や丘陵地、市街地の緑を保全する活動（参加や協力を含む）

回 答 常に取り組んでいる 21件、気付いたときなどに取り組んでいる 96件、
回答数703件

実施率 $(21 + 96) \div 703 = 0.16642 \dots = 16.64\% \rightarrow$ 評価D
→点数2

（２）評定の算出

ア 施策進捗状況

「平成25年度 あきる野市環境白書」の27頁から50頁までに示す施策の進捗状況評価に応じて点数化し、次のとおり、「自然環境分野」「生活環境分野」「エネルギー環境分野」「人の活動分野」における評定を算出しました。

評定は、本編17頁から21頁までに掲載したレーダーグラフ（図13～図18）の基礎資料となっています。

実施状況	評価	点数
定常的实施	A	5
一部着手	B	3
未着手	C	1
完了	F	5

配点表

分野	点数計	施策数	評定(点数計÷施策数)
自然環境	252	58	4.34
生活環境	402	90	4.47
エネルギー環境	203	47	4.32
人の活動	54	16	3.38

各分野における評定

なお、「平成25年度 あきる野市環境白書」は、あきる野市役所本庁舎や図書館、市ホームページにてご覧いただくことができます。

イ 関連指標及び目標達成のめやすの達成状況

「平成25年度 あきる野市環境白書」の88頁から89頁までに示す関連指標の評価一覧などを基に、評価に応じて点数化し、次のとおり、「自然環境分野」「生活環境分野」「エネルギー環境分野」「人の活動分野」における評定を算出しました。

評定は、本編17頁から21頁までに掲載したレーダーグラフ（図13～図18）の基礎資料となっています。

目標値が明確でない場合には、可能な限り、最新値などの目標に代わる数値を用いて評価を行っています。また、目標のうち、「〇〇ポイント」としているものは、「%」に読み替えを行いました。なお、評価の判定に関する補足事項を備考欄に記載しました。

No.	区分	分野	指 標	目 標		目標に代わる数値 (最新値など)	実績	評価	点数	備考
				目標値	目標年度					
1	関連指標	自然環境	「あきる野百景」の認知度(アンケート調査等で把握)	70%	H27	—	69.91%	B	4	
2			あきる野版RD種の認知度(アンケート調査等で把握)	70%	H27	—	—	Z	1	あきる野市版RD種の作成に至っていないため、評価はZとしています。
3			市内の緑地面積	現状維持	—	5775.23ha	5733.10ha	A	5	直前の緑地面積と同等の緑地面積を維持できていることから、評価はAとしています。
4			「清流」に対する市民満足度(アンケート調査等で把握)	70ポイント	H27	—	58.5%	B	4	
5			生活排水処理率	88.7%	H27	—	93.0%	A	5	
6			下水道接続率	98%	H27	—	96.0%	B	4	
7			ホテルが見られる水辺の箇所数	現状以上(現状把握のうえ)	—	—	約30か所	Z	1	目標設定時に現状把握ができなかったため、評価はZとしています。
8			ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数	7団体	H27	—	4団体	D	1	
9			川とのふれあいマナー実践度(来訪者等へのアンケート調査等で把握)	60%	H27	—	不明	Z	1	来訪者等へのアンケート調査が困難であり、川とのふれあいマナー実践度の把握ができていないため、評価はZとしています。
10			農産物直売所数	3件	H19	—	3件	A	5	
11			あきる野産の農作物(あきる野ブランド)等の数	4件	H22	—	関東東海花展にあきる野市産の花卉を出品	D	1	あきる野産の花卉の出品などにより、あきる野ブランドの周知を図っているものの、4件に到達していないため、評価はDとしています。
12			地元野菜の活用件数	—	—	—	学校給食に地元野菜を供給	B	4	活用実績はあるものの、目標が定められていないため、評価はBとしています。
13			生産緑地指定面積	現状(79.48ha)以上	—	—	71.37ha	B	4	
14	目標達成のめやす	自然環境	緑地保全などに関する実態の報告(広報掲載階数)	年間2回	—	—	年間10回	A	5	
15			新たな緑地保全制度、連携体制の確立	確立	H20	—	確立(H22)	A	5	
16			ボランティア登録人数	増加すること	—	—	増加	A	5	森林サポートレンジャーの発足等に伴い、ボランティアが増加していることから、評価はAとしています。
17			自然環境に対する市民満足度	70%	H27	—	51.85%	B	4	
18			「美林の里」整備面積、モデル地区数	—	—	—	森林資源活用整備事業におけるグミノ木尾根の景観整備、官生地区における産学公連携による森づくりの推進	A	5	目標は設定できていないものの、施策の目的を達成する事業が実施されているため、評価はAとしています。
19			里の川としての景観ポイント(「あきる野百景」の中から)	—	—	—	「あきる野百景」として、河川を含むポイントを2箇所選定	A	5	目標は設定できていないものの、施策の目的を達成する事業が実施されているため、評価はAとしています。

No.	区分	分野	指 標	目 標		目標に代わる数値 (最新値など)	実績	評価	点数	備考
				目標値	目標年度					
20	関連指標	生活環境	「へらすず」の発行回数	年間4回発行	H27	—	1回発行	D	1	
21			市民一人一日当たりのごみ排出量	平成16年度比10%減 =803.7g	H27	—	780.9g	A	5	
22			市民一人一日当たり年間ごみ処理負担費	—	—	—	現段階で算出できていない	Z	1	ごみ処理負担費の算出が困難であるため、評価はZとしています。
23			街並み・景観に関する市民満足度(アンケート調査等で把握)	30ポイント	H27	—	55.87%	A	5	
24			土地区画整理事業による街並み整備箇所数	10箇所	H27	—	実施予定箇所6箇所 現在1箇所にて事業計画中	Z	1	
25			「歩きたくなる」みちの箇所数(アンケート調査等により把握)	—	—	—	把握できていない	Z	1	目標は設定できておらず、実績も把握できていないため、評価はZとしました。
26			市民や来訪者の「歩きたくなる」度(アンケート調査等で把握)	70ポイント	H27	—	把握できていない	Z	1	
27			たばこ・ごみのポイ捨てによる市民満足度(アンケート調査等で把握) (たばこやごみのポイ捨てがなく、清潔なまちが保たれているかどうかに関する市民満足度)	70ポイント	H27	—	31.29%	C	3	
28			一斉清掃の実施回数、参加者数	現状維持 (年2回、延べ28,898人)	—	—	年2回、延べ32,097人 (春・秋に実施)	A	5	
29			目標達成のめやす	環境基準の達成率(大気、水質等)	100%	—	—	97.54	B	4
30	市民一人一日当たりのごみ排出量	平成16年度比10%減 =803.7g		—	—	780.9g	A	5		
31	ごみの資源化率	—		—	H16における資源化率:22.3%	H22における資源化率:26.7%	A	5		
32	市内の緑被率	—		—	H15における緑被率:71%	算出していない	Z	1		
33	「身近な自然を生かしたまち」の市民満足度(アンケート調査等で把握)	—		—	—	55.8%	A	5	目標は設定できていないものの、半数以上から満足しているとの回答を得たため、評価はAとしています。	
34	街並みの美しさに関する満足度(アンケート調査等で把握)	100%		—	—	46.9%	D	1		
35	不法投案件数	—		—	H17における不法投棄の量:26.6t	H26における不法投棄の量:11.99t	A	5		
36	関連指標		地球温暖化に関する環境教育実施校数	市内全校	—	—	市小中学校全校で実施	A	5	
37			家庭での電力使用量	H15比5%減 =141,500MWh	H27	—	電力使用量の把握が困難	Z	1	
38			環境家計簿などの普及状況、モニター登録者数	モニター登録100人	H27	—	141人	A	5	
39			省エネ型生活10か条の認知度、定着状況(アンケート調査等で把握)	50% 80%	H22 H27	—	28.1%	D	1	
40			エコドライブ実施状況(アンケート調査等で把握)	70%	H27	—	73.40%	A	5	
41	目標達成のめやす	エネルギー環境	CO ₂ 排出量(市民一人当たりの排出量)	現状より削減	—	H18における排出量:3.89t-CO ₂ eq	H24における排出量:4.21t-CO ₂ eq	C	3	
42			エネルギー使用量(市民一人当たりの使用量)	現状より削減	—	—	—	Z	1	
43			住宅用太陽光発電導入累計件数(NEF補助分)	—	—	H16における補助件数:196件	把握できない	Z	1	
44			新エネルギー導入件数、導入量	—	—	—	導入件数の把握はできていないものの、補助制度の申込状況などから、毎年着実に増加	A	5	目標は設定できていないものの、補助制度の実施などにより、着実に新エネルギー導入件数や導入量の増加が図られているため、A評価としています。
45			市内の森林・緑地面積	—	—	—	約4,421ha	Z	1	目標は設定できておらず、実績も把握できていないため、評価はZとしました。
46			間伐材等の利用状況、林業従事者数	—	—	間伐材等の利用状況は不明 H13における従事者数:7人	市営住宅等で地元産材を使用している 専門で林業に従事している人は現在いない	A	5	目標は設定できていないものの、地元産材の利用が促進されているため、評価はAとしました。
47			グリーンサイクル(落葉・剪定枝)量、CO ₂ 削減量	—	—	—	落ち葉の堆肥化作を4基設置(二酸化炭素削減量は算出困難)	A	5	目標は設定できていないものの、落ち葉の堆肥化作の設置などの取組が推進されたため、評価はAとしました。

No.	区分	分野	指 標	目 標		目標に代わる数値 (最新値など)	実績	評価	点数	備考
				目標値	目標年度					
48	目 標 達 成 の め や す	人 の 活 動	「あきる野市環境白書」の作成・公表	毎年公表	—	—	毎年公表	A	5	
49			環境関連講座の実施件数、参加人数	—	—	—	森林レンジャーあきる野による講座や体験学習のほか、市内小中学校による環境教育の充実等が図られた。	A	5	目標は設定できていないものの、森の子コレンジャー活動の継続や小宮ふるさと自然体験学校の運営などが為され、取組の推進が図られているため、評価はAとしました。
50			環境教育・環境学習の場の箇所数	—	—	—	森林レンジャーあきる野による講座や体験学習、小宮ふるさと自然体験学校の運営のほか、市内小中学校による環境教育の充実等が図られた。	A	5	
51			人材登録・活用制度の確立	制度の確立	—	—	市民解説員制度、観光ボランティアガイドなど	A	5	
52			協働事業の実施件数	—	—	—	環境委員会の運営や自然環境調査の実施、郷土の恵みの森づくり事業など	A	5	目標は設定できていないものの、環境委員会の運営などの協働事業の推進が図られたため、評価はAとしました。

評価	点数
A	5
B	4
C	3
D	1
Z	1

配点表

分野	点数計	項目数	評定(点数計÷項目数)
自然環境	69	19	3.63
生活環境	49	16	3.06
エネルギー環境	38	12	3.17
人の活動	25	5	5.00

各分野における評定

ウ 環境に対する市民満足度

「環境に関するアンケート調査」の自宅周辺と市全域の環境をどう感じているか尋ねた設問（市民編問4）における「あきる野市全域」に対する回答を基に、満足度に応じて点数化し、次のとおり、「自然環境分野」「生活環境分野」「エネルギー環境分野」「人の活動分野」における評定を算出しました。満足度は、「そう思う」と「ややそう思う」（設問の内容により、「そう思わない」と「あまりそう思わない」）の回答件数の合計から判定しています。

「そう思わない」「あまりそう思わない」の回答件数の合計から満足度を判定したものは、下表の設問などに網掛けを行いました。評定は、本編17頁から21頁までに掲載したレーダーグラフ（図13～図18）の基礎資料となっています。

No.	分野	設問	回答		計	全回答数 (N)	満足度	評価	点数
			市民(件)						
			そう思う (そう思わない)	ややそう思う (あまりそう思わない)					
1	自然環境	山地や丘陵地、農地などの豊かな自然環境が良好な状態で保たれている	95	284	379	703	53.91%	B	4
2		野鳥や昆虫などの生きものが身近にみられる	186	294	480	703	68.28%	B	4
3		野生動物(アライグマやハクビシン、タヌキなど)による生活への影響がでている(農作物被害、家に棲みつく、ふんをされるなど)	52	112	164	703	23.33%	D	2
4		秋川や平井川、多摩川において変化に富んだ河川環境がみられる	142	230	372	703	52.92%	B	4
5		秋川や平井川、多摩川などの河川や水路の水がきれいである	116	276	392	703	55.76%	B	4
6		河川や水路など、水に親しむ場所が多い	181	288	469	703	66.71%	B	4
7		子ども達が自然の中で遊べる場所がある	154	259	413	703	58.75%	B	4
8		観光などによる自然環境への影響が出ている	87	160	247	703	35.14%	C	3
9	生活環境	ごみやたばこのポイ捨て、落書きがなく、清潔な街が保たれている	38	182	220	703	31.29%	C	3
10		公園や公共施設、街路樹の緑などが街づくりに活かされている	103	289	392	703	55.76%	B	4
11		公園や花壇などが整備され、美しい街なみが保たれている	71	259	330	703	46.94%	C	3
12		山林や丘陵地、農地、市街地などの景観が美しい	138	279	417	703	59.32%	B	4
13		管理されていない空き地や空き家が多い	22	96	118	703	16.79%	D	2
14		野良猫や野良犬が多い	82	140	222	703	31.58%	C	3
15		公害問題(大気汚染、騒音、振動など)が発生している	104	207	311	703	44.24%	C	3
16		ごみの減量やリサイクルが進んでいる	70	201	271	703	38.55%	C	3
17		不法投棄が多い	49	127	176	703	25.04%	D	2
18	エネルギー環境	太陽光発電などが積極的に導入されている	7	45	52	703	7.40%	E	1
19	人の活動	学校や地域で環境教育などが進んでいる	16	93	109	703	15.50%	D	2
20		市民や市民団体による環境保全活動などが活発である	26	136	162	703	23.04%	D	2

実施率	評価	点数
70%以上	A	5
50%以上70%未満	B	4
30%以上50%未満	C	3
15%以上30%未満	D	2
15%未満	E	1

配点表

分野	点数計	項目数	評定 (点数計÷項目数)
自然環境	29	8	3.63
生活環境	27	9	3.00
エネルギー環境	1	1	1.00
人の活動	4	2	2.00

各分野における評定

工 環境保全活動の実施状況

「環境に関するアンケート調査」と平成24年（2014年）に実施した「地球温暖化対策に関するアンケート調査」の結果を基に、実施率に応じて点数化し、次のとおり、「自然環境分野」「生活環境分野」「エネルギー環境分野」「人の活動分野」における評価を算出しました。

「環境に関するアンケート調査」の環境に関する取組について尋ねた設問（市民編問7、事業者編問6と問8）及び「地球温暖化対策に関するアンケート調査」の地球温暖化対策に関する取組について尋ねた設問（市民編問4と問5、事業所編問4～問8）の回答を対象としています。また、実施率は、各設問項目における「常に取り組んでいる」と「気付いたときなどに取り組んでいる（時々取り組んでいる）」の回答件数の合計から判定しており、評価として、平均点を算出します。

評価は、本編17頁から21頁までに掲載したレーダーグラフ（図13～図18）の基礎資料となっています。

No.	分野	区分	設問	回答		回答	計	全回答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○:環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●:環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆:地域推進計画資料編
				市民(件)		事業者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
1	自然環境	市民	山地や丘陵地、市街地の緑を保全する活動(参加や協力を含む)	21	96		117	703	16.64%	D	2	○問7
2			河川の清掃活動(参加や協力を含む)	72	154		226	703	32.15%	C	3	○問7
3		事業者 (農業)	農業や化学肥料の使用をなるべく減らす			10	10	11	90.91%	A	5	●問8
4			消費者に、あきる野産の農作物や環境保全型農業をPRする			4	4	11	36.36%	C	3	●問8
5			遊休農地の貸し借りをしている			6	6	11	54.55%	B	4	●問8
6			田園景観の保全に努める			5	5	11	45.45%	C	3	●問8
7			農作物被害などをもたらす有害鳥獣の対策を行う			7	7	11	63.64%	B	4	●問8
8		事業者 (漁業)	資源管理型の漁業により、持続可能な水産資源の育成に努める			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
9			養殖にあたっては、飼料や化学肥料の適正な使用、低減に努める			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
10			放流にあたっては、在来種の生存や生態系に配慮する			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
11			秋川渓谷などの美しい景観、生態系の保全に努める			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
12			野鳥をはじめとする動植物への配慮に努める			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
13			漁業被害をもたらす有害鳥獣の対策を行う			1	1	1	100.00%	A	5	●問8
14		事業者 (工業)	敷地内の緑化に努め、水辺の空間などの自然的な空間の創出に配慮している			5	5	18	27.78%	D	2	●問8

No.	分野	区分	設問	回答		回答	計	全回答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○:環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●:環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆:地域推進計画資料編
				市民(件)		事業者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
15	生活環境	市民	生ごみの堆肥化や水切りによるごみの減量	220	248		468	703	66.57%	B	4	○問7
16			空き瓶やプリンターのインクカートリッジの店舗への返却などのリサイクル	354	187		541	703	76.96%	A	5	○問7
17			買い物などにおけるマイバッグの持参	450	149		599	703	85.21%	A	5	○問7
18			簡易包装の依頼や詰め替え可能な製品(洗剤や文具、調味料)の購入	436	172		608	703	86.49%	A	5	○問7
19			エコマークがついた文房具や省エネ家電などの環境配慮物品の購入	156	284		440	703	62.59%	B	4	○問7
20			ごみを適正に処分する(分別、ポイ捨てしない、燃やさない)	583	74		657	703	93.46%	A	5	○問7
21		事業者 (全体)	汚染物質の排出抑制(NO _x 、SO _x 、PMなど)			20	20	78	25.64%	D	2	●問6
22			有害化学物質の使用量削減・適正管理			17	17	78	21.79%	D	2	●問6
23			騒音・振動・臭気の低減			30	30	78	38.46%	C	3	●問6
24			環境負荷の少ない製品やエコマーク製品の優先的な購入・使用			14	14	78	17.95%	D	2	●問6
25			ごみの発生抑制や分別の徹底、リサイクルの推進			57	57	78	73.08%	A	5	●問6
26		事業者 (農業)	食物残さなどを活用した有機栽培を進める			4	4	11	36.36%	C	3	●問8農業者
27			野焼きは極力避け、やむを得ない場合は周辺に十分配慮して実施する			9	9	11	81.82%	A	5	●問8農業者
28			堆肥等を適切に管理して、臭気の防止に努める			9	9	11	81.82%	A	5	●問8農業者
29			資源のリサイクルや廃棄物の適正処理に努める			8	8	11	72.73%	A	5	●問8農業者
30		事業者 (漁業)	廃棄物のリサイクルや適正処理に努める			0	0	1	0.00%	E	1	●問8漁業者
31		事業者 (商業)	廃棄物の発生抑制、分別、リサイクルに努める			16	16	17	94.12%	A	5	●問8商業者
32			廃棄物(廃油なども含む)の適正処理を行う			11	11	17	64.71%	B	4	●問8商業者
33			環境負荷の少ない製品やエコマーク製品の流通・販売に努める			3	3	17	17.65%	D	2	●問8商業者
34			トレイなどの店頭回収を行う			2	2	17	11.76%	E	1	●問8商業者
35			看板や建物などは、周辺環境との調和・景観に十分配慮する			2	2	17	11.76%	E	1	●問8商業者
36			レジ袋の廃止やマイバッグの持参を奨励する取組を進める			4	4	17	23.53%	D	2	●問8商業者
37			深夜・早朝などの配達車や店舗からの騒音の発生抑制に努める			3	3	17	17.65%	D	2	●問8商業者
38			調理などに伴う臭気の発生抑制に努める			2	2	17	11.76%	E	1	●問8商業者
39		事業者 (工業)	リサイクルしやすい製品や省エネルギー製品の開発を推進する			1	1	18	5.56%	E	1	●問8工業者
40			製品の原材料にリサイクル資源を利用するなど、再生資源の循環的利用に努める			1	1	18	5.56%	E	1	●問8工業者
41			化学物質の使用量や排出状況などを適正に管理し、化学物質による環境汚染の未然防止を図る			4	4	18	22.22%	D	2	●問8工業者

No.	分野	区分	設 問	回 答		回 答	計	全回 答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○:環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●:環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆:地域推進計画資料編
				市 民 (件)		事 業 者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
42	生活 環境	事業者 (サービス)	廃棄物の発生抑制、分別、リサイクルに努める			23	23	31	74.19%	A	5	●問8サービス業
43			廃棄物(廃油なども含む)の適正処理を行う			21	21	31	67.74%	B	4	●問8サービス業
44			環境負荷の少ない製品やエコマーク製品の流通・販売に努める			7	7	31	22.58%	D	2	●問8サービス業
45			看板や建物などは、周辺環境との調和・景観に十分配慮する			12	12	31	38.71%	C	3	●問8サービス業
46			深夜・早朝の業務に伴う騒音の発生抑制に努める			11	11	31	35.48%	C	3	●問8サービス業
47			調理などに伴う臭気の発生抑制に努める			4	4	31	12.90%	E	1	●問8サービス業
48	エ ネ ル ギ ー 環 境	市民	不要な電灯を消す、エアコンの適正温度設定などの節電	497	156		653	703	92.89%	A	5	○問7
49			出かける際は、電車やバスなどを積極的に使い、車の使用を控える	169	179		348	703	49.50%	C	3	○問7
50			家の近くに出かけるときは、徒歩や自転車を使う	377	189		566	703	80.51%	A	5	○問7
51			車を購入する際は、燃費が良いなどの環境性能を重視する	347	131		478	703	67.99%	B	4	○問7
52			加減速の少ない運転などのエコドライブの実践	340	176		516	703	73.40%	A	5	○問7
53			雨水・再生水利用などの節水・循環利用	99	144		243	703	34.57%	C	3	○問7
54			庭や庭の樹木の手入れを行い、良好な状態を維持する	305	225		530	703	75.39%	A	5	○問7
55			地域で作られた野菜を食べるなどの地産地消	280	264		544	703	77.38%	A	5	○問7
56			緑のカーテン(グリーンカーテン)の設置	142	139		281	703	39.97%	C	3	○問7
57		事業者 (全体)	節電や冷暖房の温度調整などの省エネルギー			56	56	78	71.79%	A	5	●問6
58			低燃費車や低公害車の導入、自動車の使用自粛			21	21	78	26.92%	D	2	●問6
59			雨水・再生水利用などの節水・循環利用			12	12	78	15.38%	D	2	●問6
60			屋上緑化や壁面緑化(グリーンカーテンを含む)、敷地内の緑化など			15	15	78	19.23%	D	2	●問6
61			太陽光発電システムなどの再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入			20	20	78	25.64%	D	2	●問6
62			紙使用量の削減や再生紙の利用			38	38	78	48.72%	C	3	●問6
63			環境にやさしい製品(サービス)の開発、製造、販売(提供)			10	10	78	12.82%	E	1	●問6
64		事業者 (農業)	農地の上方空間やハウスの屋根に太陽光パネルを設置し、農業と太陽光発電の両立をしている			1	1	11	9.09%	E	1	●問8農業者
65		事業者 (漁業)	節水や水の循環利用に努める			0	0	1	0.00%	E	1	●問8漁業者
66	事業者 (商業)	店内等の照明・空調などに関する省エネルギー対策を進める			13	13	17	76.47%	A	5	●問8商業者	
67		物流の合理化などにより、輸送・配送にあたっての環境負荷の低減を図る			5	5	17	29.41%	D	2	●問8商業者	
68		農産物は地場産のものや有機栽培のものを選択して買えるように、陳列などを工夫している			3	3	17	17.65%	D	2	●問8商業者	

No.	分野	区分	設問	回答		回答	計	全回答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○: 環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●: 環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆: 地域推進計画資料編
				市民(件)		事業者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
69	事業者 (工業)	LCA(ライフサイクルアセスメント)の導入により、製品等の製造から廃棄までの環境負荷低減に努める			3	3	18	16.67%	D	2	●問8工業者	
70		太陽光などの再生可能エネルギーを導入している(太陽光により発電された電力の購入も含む)			1	1	18	5.56%	E	1	●問8工業者	
71		エネルギーの使用状況の監視やコントロールを行っている			6	6	18	33.33%	C	3	●問8工業者	
72	事業者 (サービス)	事業所内の照明・空調などに関する省エネルギー対策を進める			16	16	31	51.61%	B	4	●問8サービス業	
73		公共交通機関の積極的な利用など、移動や輸送・配送にあたっての環境負荷の低減を図る			2	2	31	6.45%	E	1	●問8サービス業	
74	エネルギー 環境	市民	エアコン(冷房)の設定温度は28℃以上の温度を目安とする	358	220		578	765	75.56%	A	5	☆P97(4)①
75			エアコン(暖房)の設定温度は20℃以下の温度を目安とする	311	193		504	765	65.88%	B	4	☆P97(4)①
76			家族が同じ部屋で団らんし、エアコンと照明の使用を減らす	400	225		625	765	81.70%	A	5	☆P97(4)①
77			石油ストーブやヒーター、電気ゴタツをこまめに消す	538	159		697	765	91.11%	A	5	☆P97(4)①
78			テレビやゲーム機をこまめに消して、使わないときはコンセントを抜く	290	263		553	765	72.29%	A	5	☆P97(4)①
79			冷蔵庫は色々なものをつめこまず、扉の開閉を少なくする	371	265		636	765	83.14%	A	5	☆P97(4)①
80			ご飯は炊飯器ですずと保温するのではなく、必要なときに電子レンジで温め直す	476	137		613	765	80.13%	A	5	☆P97(4)①
81			お風呂は続けて入浴、一緒の入浴を心がける	350	200		550	765	71.90%	A	5	☆P97(4)①
82			お風呂の残り湯を活用する	443	100		543	765	70.98%	A	5	☆P97(4)①
83			買い物袋を持参し、余分なレジ袋や過剰包装は断る	442	223		665	765	86.93%	A	5	☆P98(5)①
84			使い捨て容器入りの商品よりも、詰め替え可能な商品を買うように心がける	419	245		664	765	86.80%	A	5	☆P98(5)①
85			廃棄時には、分別を徹底する (缶、びん、ペットボトル、金属類、繊維類、新聞紙等)	690	45		735	765	96.08%	A	5	☆P98(5)①
86			食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力する	513	131		644	765	84.18%	A	5	☆P98(5)①
87			車を運転するときは、急発進・急加速をやめ、エコドライブを心がける	462	140		602	765	78.69%	A	5	☆P99(6)①
88			不必要なアイドリングをやめる	478	119		597	765	78.04%	A	5	☆P99(6)①
89			出かける時は、できるだけ自家用車ではなく公共交通機関を利用する	103	262		365	765	47.71%	C	3	☆P99(6)①
90			自動車買い換え時、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車など環境に配慮した自動車を選択する	255	127		382	765	49.93%	C	3	☆P99(6)①
91			白熱灯が切れたときは、省エネ効果の高いLEDランプ、電球型蛍光灯に交換する	341	217		558	765	72.94%	A	5	☆P99(7)①
92			家電製品購入時は省エネ性能を重視する	430	244		674	765	88.10%	A	5	☆P99(7)①
93			旬の食材や地場の食材などを選んで購入する(地産地消)	303	337		640	765	83.66%	A	5	☆P99(7)①
94			CO2排出が相殺されたカーボン・オフセット商品を選択する	101	227		328	765	42.88%	C	3	☆P99(7)①
95			ベランダや庭に花や緑を植えて楽しむ	466	164		630	765	82.35%	A	5	☆P100(8)①

No.	分野	区分	設 問	回 答		回 答	計	全回 答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○: 環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●: 環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆: 地域推進計画資料編
				市民(件)		事業者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
96	エネルギー環境	市民	グリーンカーテンを実施している	195	132		327	765	42.75%	C	3	☆P100(8)①
97			環境イベントや講座に参加する	15	143		158	765	20.65%	D	2	☆P100(8)①
98			家庭用燃料電池(例: エネファーム)や高効率の給湯器(例: エコキュート、エコジョーズ、エコウィル)を導入する	135	0		135	765	17.65%	D	2	☆P100(9)①
99			断熱材やエコガラスを取り入れる	187	0		187	765	24.44%	D	2	☆P100(9)①
100			見える化機器(省エネナビ等※)を導入する	70	0		70	765	9.15%	E	1	☆P100(9)①
101			太陽光発電を導入している	41	0		41	765	5.36%	E	1	☆P101(10)①
102			太陽熱利用をしている	34	0		34	765	4.44%	E	1	☆P101(10)①
103		事業者 (全体)	エアコン(冷房)の設定温度は28℃以上の温度を目安とする			146	146	206	70.87%	A	5	☆P108(2)①
104			エアコン(暖房)の設定温度は20℃以下の温度を目安とする			122	122	206	59.22%	B	4	☆P108(2)①
105			エアコンのフィルターはこまめに掃除をする			153	153	206	74.27%	A	5	☆P108(2)①
106			カーテンやブラインドを上手に利用し冷暖房効果を高めるように心がける			138	138	206	66.99%	B	4	☆P108(2)①
107			不要な照明は、こまめに消す			195	195	206	94.66%	A	5	☆P108(2)①
108			不要なOA機器等は、こまめに消す			119	119	206	57.77%	B	4	☆P108(2)①
109			自動販売機の省エネ化や台数を削減する			52	52	206	25.24%	D	2	☆P108(2)①
110			建物の断熱化や屋上緑化・壁面緑化を行う			59	59	206	28.64%	D	2	☆P108(2)①
111			使用済みの文具や封筒などまだ使えるものは再利用する			175	175	206	84.95%	A	5	☆P109(3)①
112			紙コップやペーパータオルなどの使い捨て物品を使用しないように心がける			136	136	206	66.02%	B	3	☆P109(3)①
113			事業所から出る廃棄物は分別排出やリサイクルを徹底する			178	178	206	86.41%	A	5	☆P109(3)①
114			事務用品は、エコマーク商品等環境に配慮した物品を購入する			120	120	206	58.25%	B	4	☆P109(3)①
115			ミスコピー用紙を再利用するなど紙の使用量削減に努める			148	148	206	71.84%	A	5	☆P109(3)①
116			車を運転するときは急発進・急加速をやめる等エコドライブを励行している			174	174	206	84.47%	A	5	☆P110(4)①
117			不必要なアイドリングストップの徹底			159	159	206	77.18%	A	5	☆P110(4)①
118			従業員のマイカー通勤を抑制する			54	54	206	26.21%	D	2	☆P110(4)①
119			公共交通機関の利用促進			71	71	206	34.47%	C	3	☆P110(4)①
120			近距離移動の際の自転車の利用促進			92	92	206	44.66%	C	3	☆P110(4)①
121			自動車買い換え時、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車など環境に配慮した自動車を選択する			100	100	206	48.54%	C	3	☆P110(4)①
122			事業所敷地内の緑化を行う			114	114	206	55.34%	B	4	☆P110(5)①

No.	分野	区分	設問	回答		回答	計	全回答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○:環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●:環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆:地域推進計画資料編
				市民(件)		事業者						
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる	既に実施						
123	エネルギー 環境	事業者 (全体)	社内での環境教育を実施する			97	97	206	47.09%	C	3	☆P110(5)①
124			高効率照明(LED照明、インバータ照明)に買い替える			51	51	206	24.76%	D	2	☆P111(6)①
125			省エネ型冷蔵・冷凍機を導入する			32	32	206	15.53%	D	2	☆P111(6)①
126			高効率空調機を導入する			20	20	206	9.71%	E	1	☆P111(6)①
127			高効率給湯器を導入する			12	12	206	5.83%	E	1	☆P111(6)①
128			ESCO事業を行う			9	9	206	4.37%	E	1	☆P111(6)①
129			断熱材やエコガラスを取り入れる			20	20	206	9.71%	E	1	☆P111(6)①
130			コージェネレーション設備などの最新技術を取り入れる			2	2	206	0.97%	E	1	☆P111(6)①
131			電力モニターやデマンドコントロール等の機器(見える化機器)を導入する			13	13	206	6.31%	E	1	☆P111(6)①
132			貴事業所では、エネルギー使用量の削減目標を定めていますか			33	33	206	16.02%	D	2	☆P112(7)
133			貴事業所では、CO2排出量全体の削減目標を定めていますか			13	13	206	6.31%	E	1	☆P112(8)
134			貴事業所では、エネルギー使用量や管理状況を記録していますか			35	35	206	16.99%	D	2	☆P112(9)
135			太陽光発電を導入している			12	12	206	5.83%	E	1	☆P113(10)①
136			太陽熱利用をしている			3	3	206	1.46%	E	1	☆P113(10)①

No.	分野	区分	設 問	回答		計	全回 答数 N	実施率	評価	点数	備考(対象とする設問等) ○:環境に関するアンケート調査結果(市民編) ●:環境に関するアンケート調査結果(事業者編) ☆:地域推進計画資料編	
				市民(件)								事業者
				常に取り組んでいる	気付いたときに 取り組んでいる							既に実施
137	人の活動	事業者 (全体)	環境保全に関する具体的な行動計画の策定			6	6	78	7.69%	E	1	●問6
138			事業活動に伴う環境負荷量等の把握 (例:ごみ排出量、エネルギー使用量、温室効果ガス排出量など)			7	7	78	8.97%	E	1	●問6
139			ISO14001や独自システムなどの環境マネジメントシステムの導入			5	5	78	6.41%	E	1	●問6
140			事業活動に関する環境報告書の作成・公表			2	2	78	2.56%	E	1	●問6
141			従業員への環境研修・教育の実施			13	13	78	16.67%	D	2	●問6
142			環境専門部署や担当者の設置			5	5	78	6.41%	E	1	●問6
143			周辺地域や特定の地域を対象とした環境保全活動の実施			10	10	78	12.82%	E	1	●問6
144			環境保全活動への参加や協力、支援(資金や活動場所の提供も含む)			12	12	78	15.38%	D	2	●問6
145		事業者 (農業)	農業体験など、市民や学校、観光客などとの連携活動を進める			3	3	11	27.27%	D	2	●問8農業者
146		事業者 (漁業)	釣り客へのマナーの徹底や注意を呼びかける			1	1	1	100.00%	A	5	●問8漁業者
147			地域住民等との連携による河川の清掃活動を実施する			1	1	1	100.00%	A	5	●問8漁業者
148			地域住民等との連携による水辺環境の保全に努める			1	1	1	100.00%	A	5	●問8漁業者
149			河川や魚類、伝統漁法等に関する環境教育を行う			1	1	1	100.00%	A	5	●問8漁業者
150		事業者 (工業)	原料の表示や消費電力量などの製品等の情報を消費者に表示する			1	1	18	5.56%	E	1	●問8項業者
151			使用素材の表示など、製品に関する環境情報の公開に努める			2	2	18	11.11%	E	1	●問8項業者

実施率	評価	点数
70%以上	A	5
50%以上70%未満	B	4
30%以上50%未満	C	3
15%以上30%未満	D	2
15%未満	E	1

配点表

分野	点数計	項目数	評定(点数計÷項目数)
自然環境	56	14	4.00
生活環境	101	33	3.06
エネルギー環境	290	89	3.26
人の活動	34	15	2.27

各分野における評定

4 環境に関するアンケート調査結果

(1) 市民編

環境に関するアンケート調査結果 ＜市民編＞

1 基本的な考え方

(1) 調査の目的

- ① 第二次あきる野市環境基本計画（以下「第二次計画」という。）の策定に向けた環境に関する意識等の把握（気になる環境問題など）
- ② 第一次あきる野市環境基本計画（以下「第一次計画」という。）の達成度の判定に向けた環境に関する満足度等の把握（自然環境に対する市民満足度など）
- ③ 環境基本計画等に基づく各種環境施策の認知度の把握
- ④ 各種環境施策の周知

(2) 調査対象

市民 2,000 人を対象とした。要件は次のとおりである。

- ① 年齢 20 歳以上
- ② 男女 男 1,000 人、女 1,000 人
※本市の人口における男女比が、ほぼ 1 : 1 であることを考慮
- ③ 世帯 同一世帯の者は除く。

(3) 調査内容

- ① あきる野市の魅力
- ② 環境への意識や考え方
- ③ 関心のある環境問題
- ④ あきる野市の環境の評価
- ⑤ 将来の望ましい環境
- ⑥ 環境を良くするために実施すべき施策
- ⑦ 環境保全につながる行動の実施状況
- ⑧ 環境問題の解決に向けた考え方
- ⑨ 環境に関する言葉の認知度
- ⑩ あきる野市の環境に関する取組の認知度
- ⑪ 環境保全につながる取組の参加意欲
- ⑫ 各種情報の発信方法

(4) 調査方法及び調査期間

- ① 調査期間：平成 26 年 12 月 1 日（月）～12 月 24 日（水）
- ② 調査方法：郵送法とし、督促状は出していない。

(5) 取りまとめ方法

設問ごとにグラフ化し、傾向などの分析を行った。

(6) 端数処理

端数処理により、グラフの計が 100%にならない場合がある。

2 アンケート調査結果

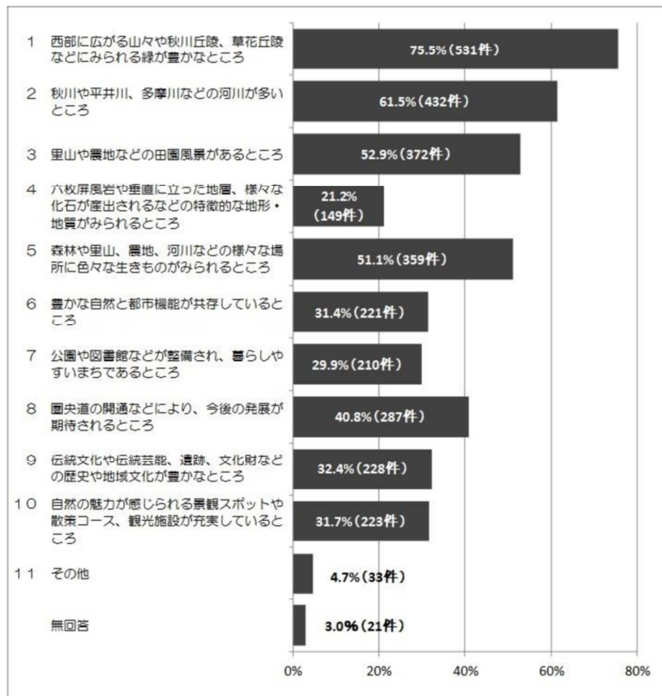
(1) あきる野市の魅力

<問1>

あなたが生活するなかで感じているあきる野市の魅力は、どのようなところだと思いますか。

1～11の番号のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(n=703)



(2) 環境への意識や考え方

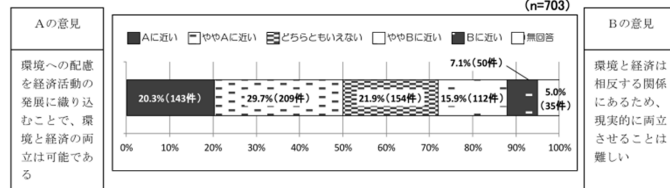
<問2>

環境保全と生活の利便性、費用負担の考え方に関する次の(1)～(3)の3つの項目について、あなたはA、Bそれぞれどちらの意見に近いですか。

(1)～(3)のそれぞれの項目について、A欄とB欄の1～5の番号のうち、あなたの考えに近いもの1つだけに○をつけてください。

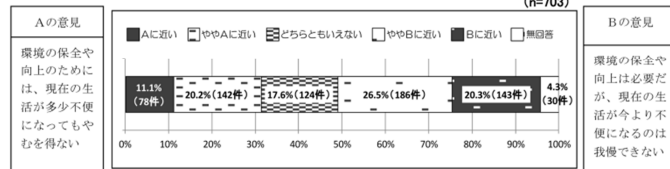
(1) 環境と経済の両立について

(n=703)



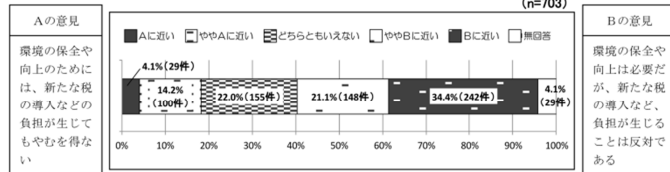
(2) 環境保全と生活の利便性の関係について

(n=703)



(3) 環境保全と税などの負担の関係について

(n=703)

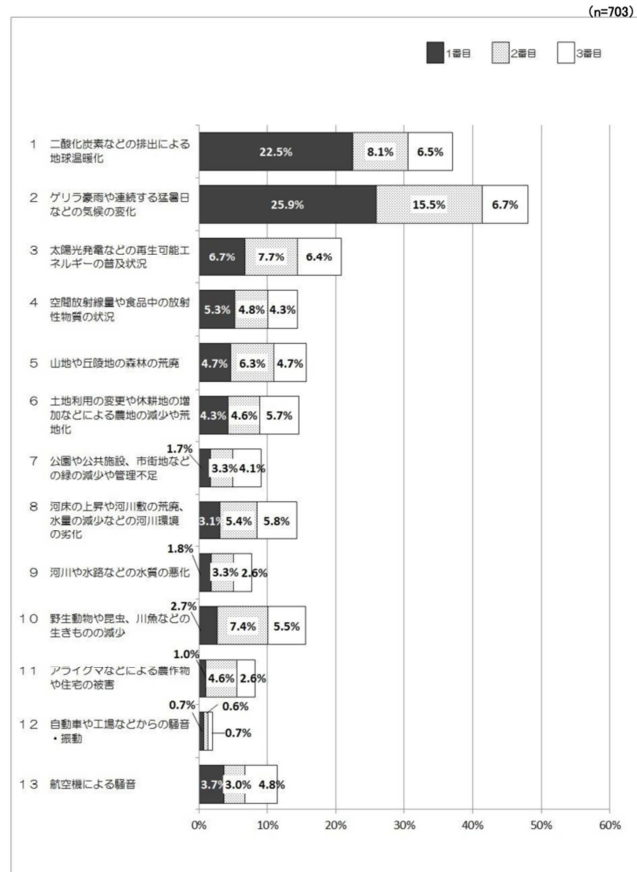


(3) 関心のある環境問題

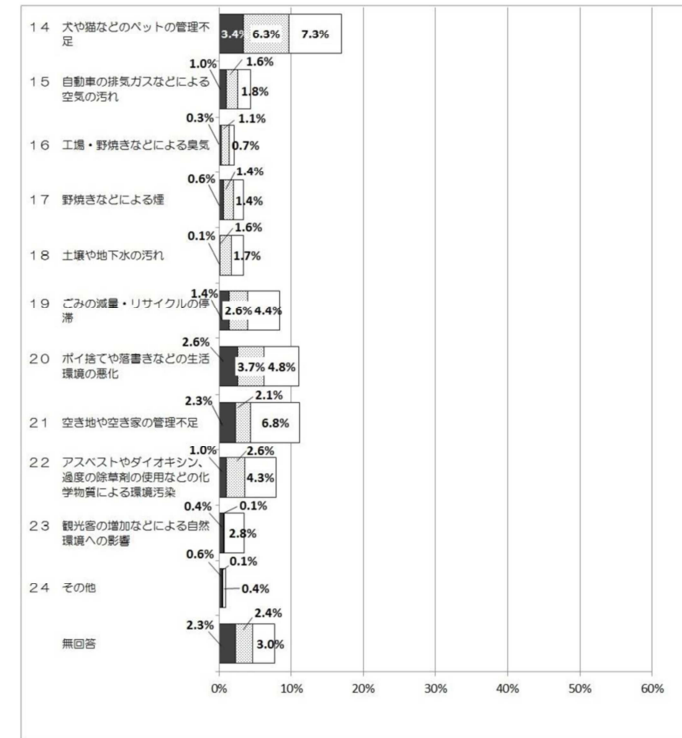
<問3>

あなたが関心のある環境問題がありますか。

1～24の番号のうち、あてはまるものを関心の高い順に3つ、選んでください。



4



5

(4) あきる野市の環境の評価

◎あきる野市の現在の環境をどう思いますか？

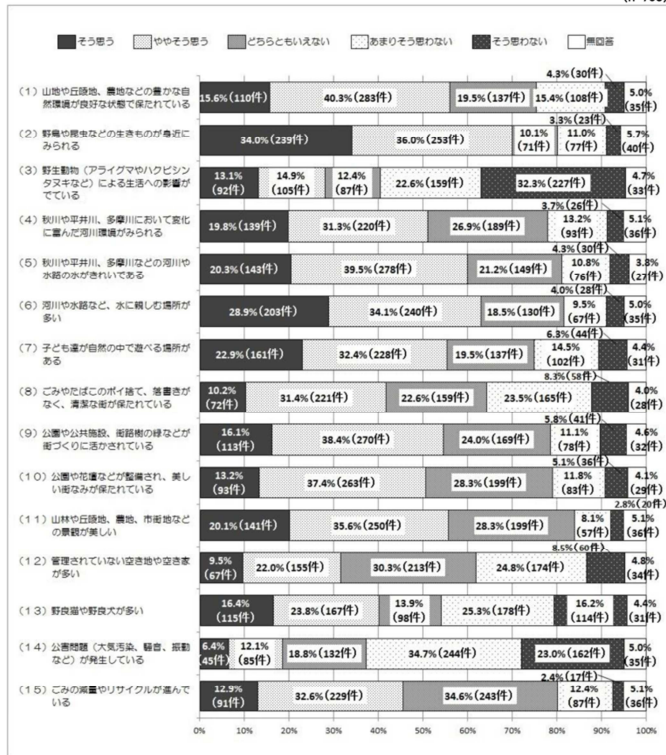
<問4>

現在、あなたが住まいの周辺の環境（A欄）や、あきる野市全域の環境（B欄）について、どのように感じていますか。

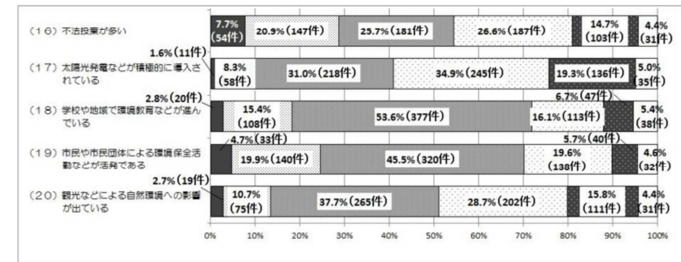
（１）～（２０）のそれぞれの項目について、A欄とB欄のそれぞれについて、１～５の番号のうち、あなたの考えに近いもの１つだけに○をつけてください。

<住んでいる周辺>

(n=703)



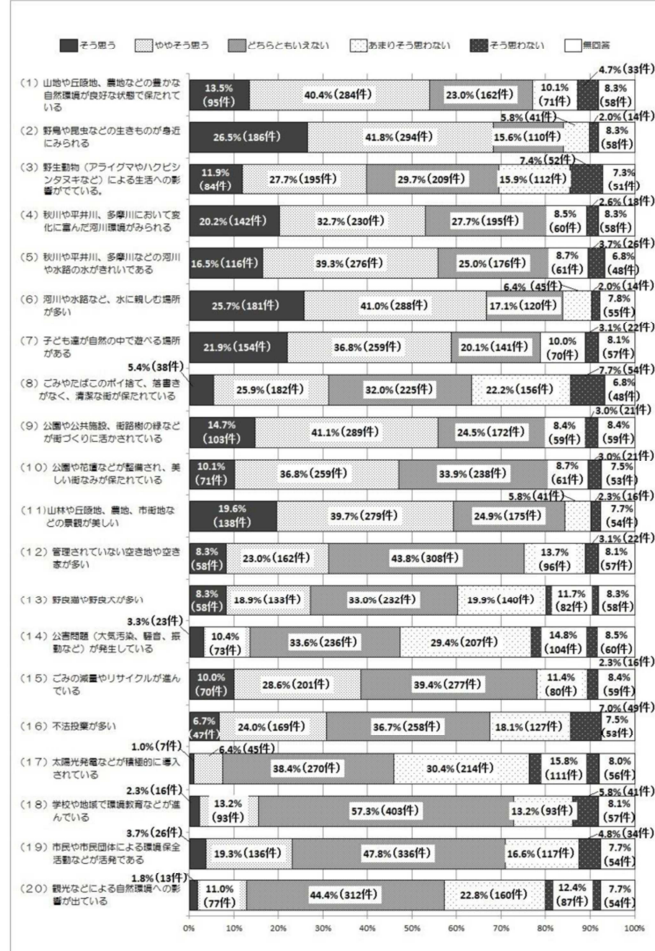
6



7

＜市域全体＞

(n=703)



8

(5) 将来の望ましい環境

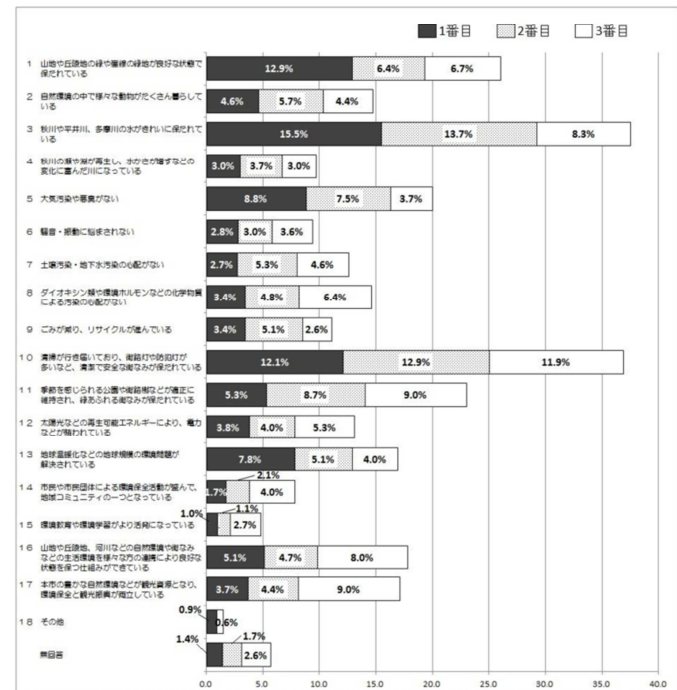
◎将来、どのような環境であると良いと思いますか？

＜問5＞

将来、あきる野市や地球の環境がどのようなであると良いと思いますか。

1～18の番号のうち、あてはまるものを3つ選び、優先する順に回答欄に記入してください。

(n=703)



9

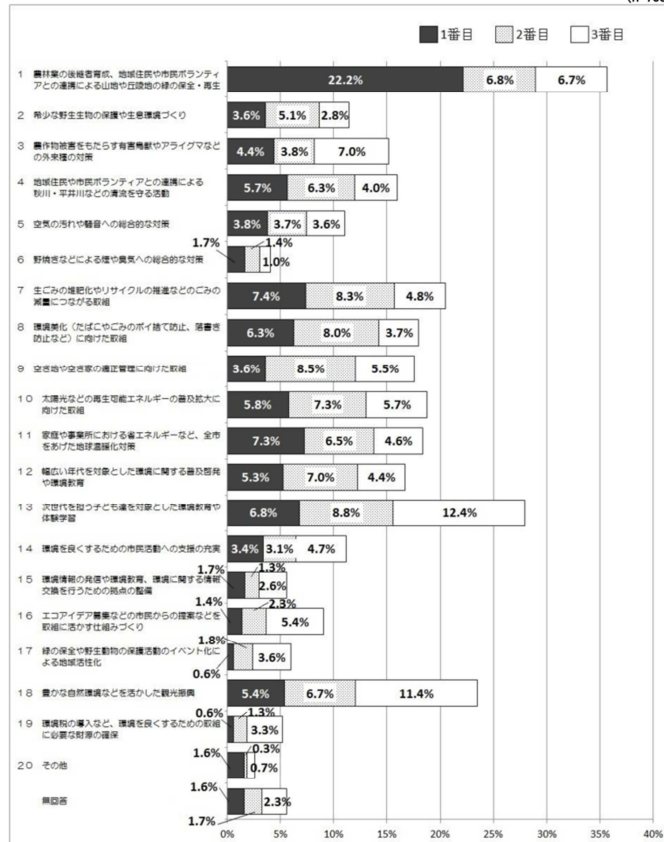
(6) 環境を良くするために実施すべき施策

<問6>

もし、あなたがあきる野市のリーダーだったら、あきる野市の環境を良くしていくためにどのような取組を優先的に実施しますか。

1～20の番号のうち、あてはまるものを3つ選び、優先する順に回答欄に記入して下さい。

(n=703)



10

(7) 環境保全につながる行動の実施状況

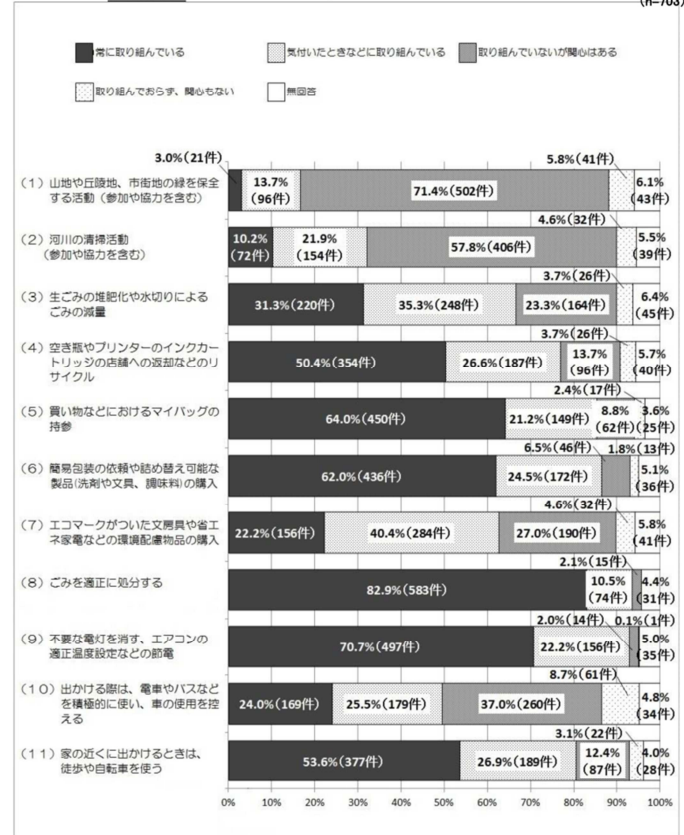
◎あなた自身の行動や考えについてお聞きます。

<問7>

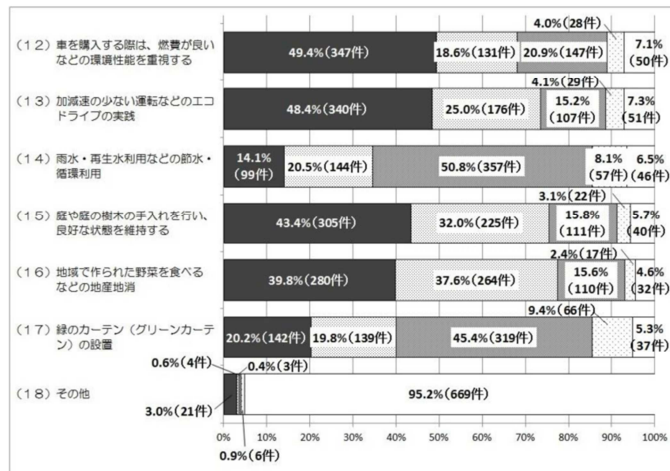
環境に関する次の行動について、あなたの取組状況について教えてください。

(1)～(18)のそれぞれの項目について、1～4の番号のうち、あなたの取組状況にあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

(n=703)



11



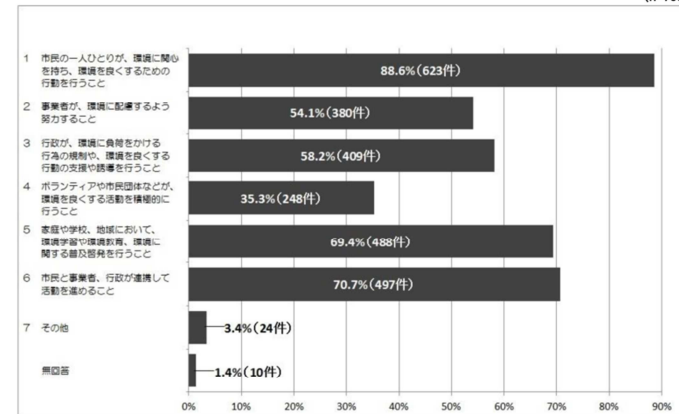
(8) 環境問題の解決に向けた考え方

<問8>

環境を良くしていくためには、誰がどうすることが重要だと思いますか。

1～7の番号のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(n=703)



(9) 環境に関する言葉の認知度

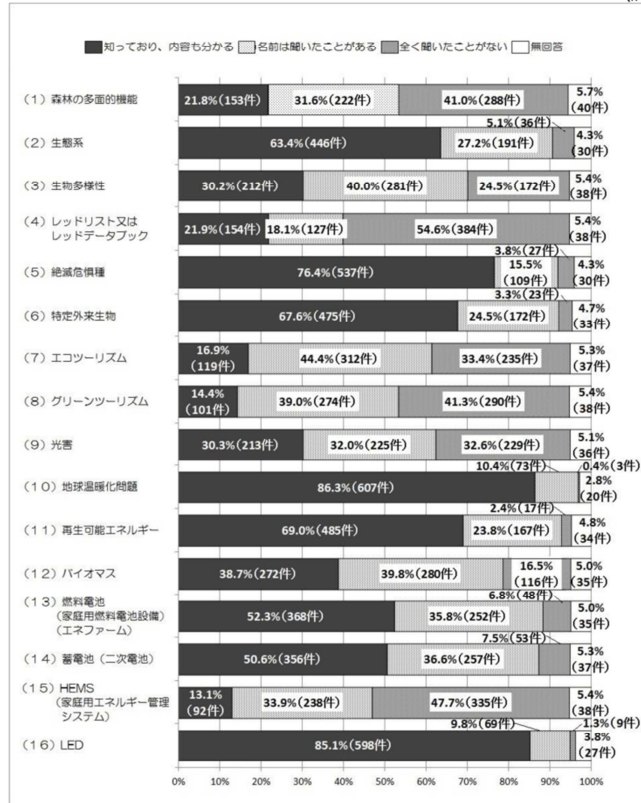
◎環境に関する言葉や、あきる野市の環境に関する取組についてお聞きします。

<問9>

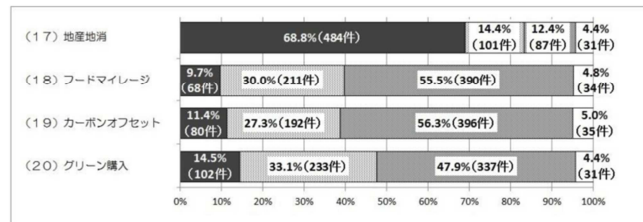
環境に関する取組は様々な分野に及んでおり、色々な言葉が使われています。次の言葉について、あなたがご存知かどうか教えてください。

(1)～(20)のそれぞれの項目について、1～3の番号のうち、あなたの認知度にあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

(n=703)



14



15

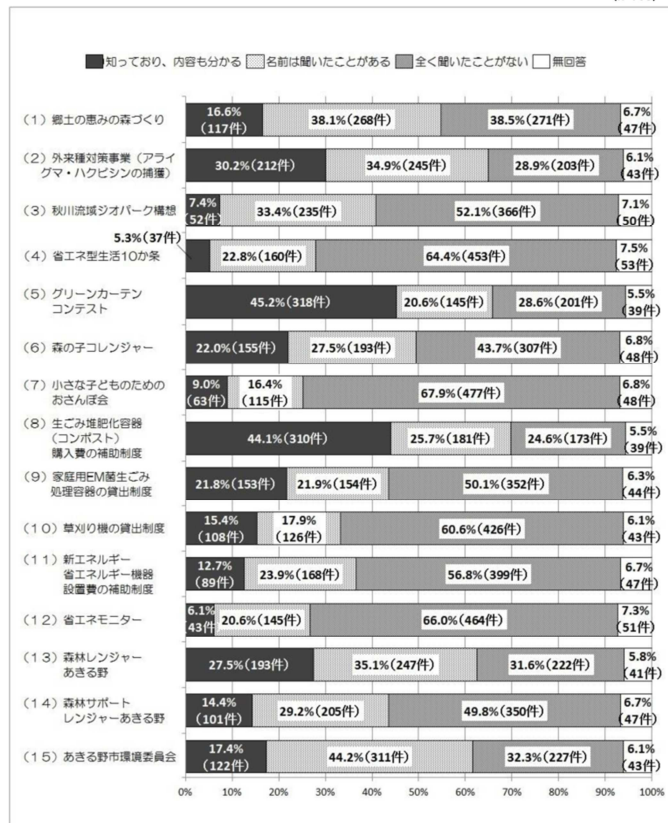
(10) あきる野市の環境に関する取組の認知度

<問10>

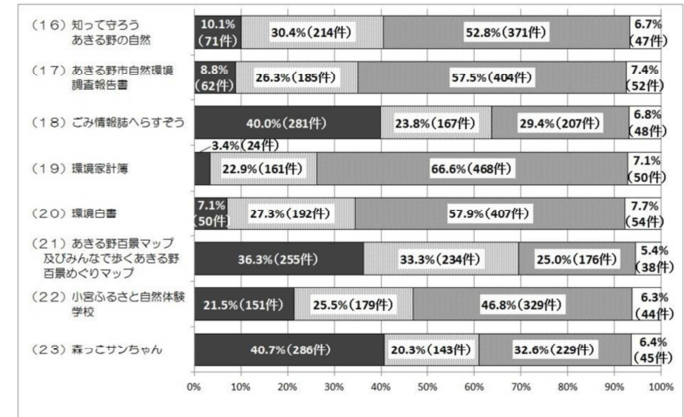
あきる野市が実施している環境に関する取組や制度、組織、刊行物などについて、あなたがご存知かどうかを教えてください。

(1)～(23)のそれぞれの項目について、別紙1をご覧くださいながら、1～3番の番号のうち、あなたの認知度にあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

(n=703)



16



17

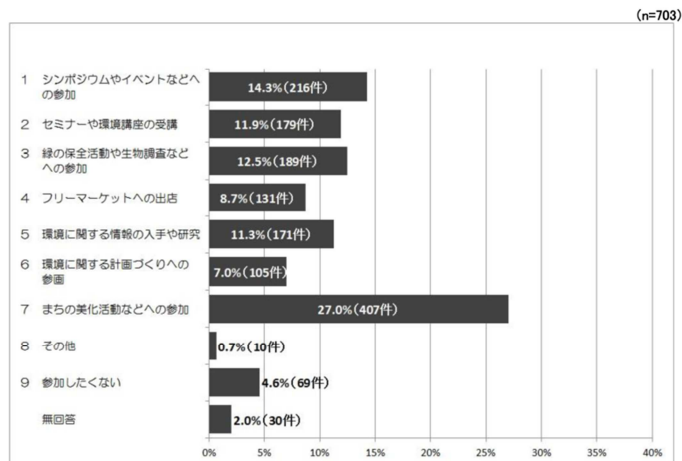
(11) 環境保全につながる取組の参加意欲

◎今後の活動についてお聞きします。

<問11>

環境を良くするための取組や活動のうち、あなたが今後、参加・実行してみたいものはどれですか。また、すべてに参加したくない場合は、その理由を教えてください。

1～9の番号のうち、あてはまるものをすべてに〇をつけてください。



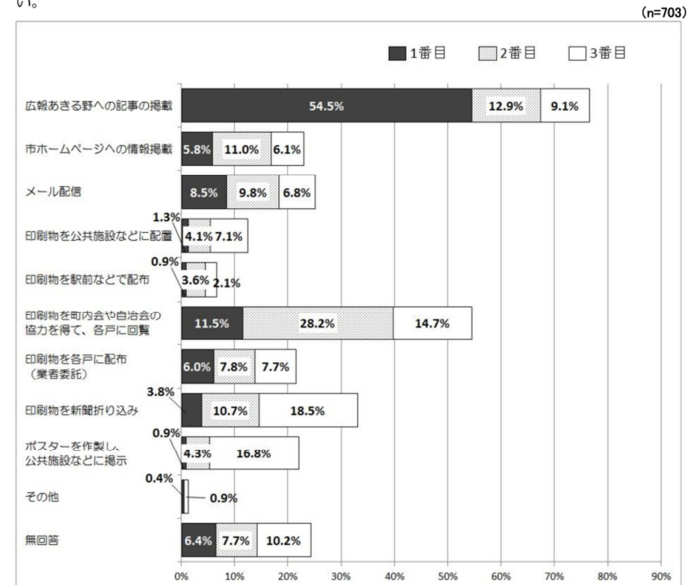
(12) 各種情報の発信方法

◎情報等の発信方法についてお聞きします。

<問12>

環境を良くするための活動や取組は、市民や事業者の皆さんとの連携により、効果的に進めていくことができます。そのためには、活動や取組の情報を広く知っていただくことが必要です。あなたにとって、情報入手しやすい方策を教えてください。

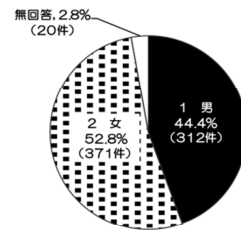
1～10の番号のうち、あてはまるものを3つ選び、優先する順に回答欄に記入してください。



(13) 回答者の属性

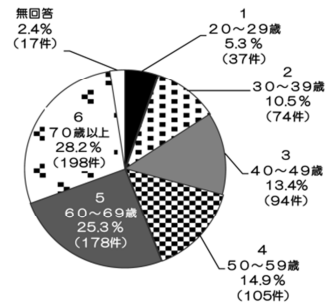
◎最後に、あなたのことについてお聞きます。

1 性別 (n=703)



回答者の性別は、「1 男性」が312件(44.4%)、「2 女性」が371件(52.8%)であり、女性が男性より59件(8.4%)多い。

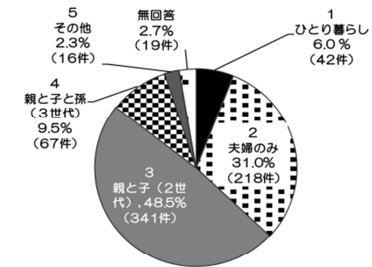
2 年齢 (n=703)



回答者の年齢は、「6 70歳以上」が最も多く198件(28.2%)であった。次いで「5 60~69歳」が178件(25.3%)、「4 50~59歳」が105件(14.9%)、「3 40歳~49歳」が94件(13.4%)であった。

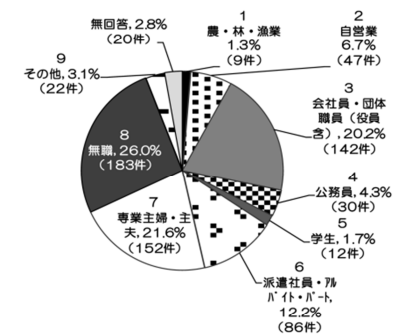
20

3 家族の状況 (n=703)



回答者の家族の状況は、「3 親と子(2世代)」が最も多く341件(48.5%)であった。次いで「2 夫婦のみ」が218件(31.0%)、「4 親と子と孫」が67件(9.5%)であった。

4 あなたの職業 (n=703)



回答者の職業は、「8 無職」が最も多く183件(26.0%)であった。次いで「7 専業主婦・主夫」が152件(21.6%)、「3 会社員・団体職員(役員含)」が142件(20.2%)であった。

21